

白浜レスキューネットワーク通信 10月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

10月1日～10月31日

電話件数 95件

保護件数 2件 (男性2名/女性0名)

帰宅件数 1件

○5日、以前共同生活に滞在したことのある男性が、職場での金銭的な問題から相談に来た。共同生活に加わり、やり直していくことになった。

○12日夜、三段壁で男性を保護した。酒に酔っている状態だった。話をする中で落ち着き、翌日帰宅した。

生活自立支援活動

10月1日～10月31日

滞在者数 10人(男性8人,女性2人)

自立 0人

自主退所 1人

強制退所 0人

○先月から就職活動を始めた 50代の男性は、今月も継続して午前中にまちなかキッチンの中抜けして就職活動を行った。年齢など条件が合わず難航しているが、めげずに続けている。よい結果につながればと願っている。

○まちなかキッチンで働く 30代の男性が、夏に普通免許を取得したことで、配達と回収に回るようになった。直にお客さんと触れることができ、楽しくやれているとのことだ。以前は、しばしばキッチンの中でイライラしてしまうこともあったが、配達にできるようになってからは安定している。

○今月、5日に保護した男性が、17日からまちなかキッチンの店番を手伝うようになった。しかし、23日の午後突然いなくなってしまった。○糖尿病を患っている 60代の女性は、自分の食欲と葛藤している。お腹がすくとつい冷蔵庫にあるものを勝手に食べてしまったりしている。一方で、夕飯時にはきちんと摂取量を守るときもあり、こちらからの声かけと気配りが必要だと感じている。

○8月に保護された 20代の女性が、生活のリズムを立てなおすためにも、午前中にまちなかキッチンのお惣菜部門に入るようになった。主にお皿洗いなどを担っており、他のメンバーとの関係も良好だ。定期的に精神科にも通院している。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は、田辺市への配達を休止した。その一方で営業によって白浜町内からの新規の顧客が増え、休止したルート分を賄う数を獲得することができた。メンバー自身も、営業の成果が目に見える形で現れたことに喜びを感じている。

惣菜部門は、安定した売上を今月も残すことができた。

・放課後クラブ「コペルくん」

毎日8～10人の子どもが参加した。

先月から週1回ボランティアで来ている女性と子どもたちの関係も良好で、勉強でわからないところを丁寧に教えてもらうことや、一緒におやつを食べるなどして、子どもと関係を深めている。

今月は西牟婁郡での陸上大会があり、高学年の女の子たちが放課後、その練習を終えてから来た。体力的にフラフラになりながらも一生懸命に宿題をしており、頼もしい姿が見られた。

・相談電話

5日、12日、19日、26日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演活動

15日(土) 大阪府守口市で講演

18日(火) 岩田小学校で講演